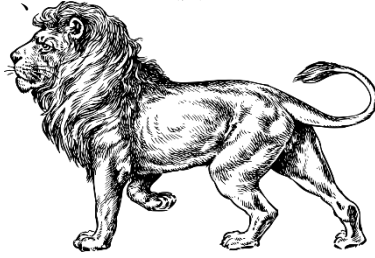


「百獣の王 ライオン」

小神明町生涯学習奨励員

牧野 進

9月20日の朝、A新聞トップ見出しに「ライオン10万円 猫より安い」と書かれていた。調査記事によると、14年度からの5年間で全国の公立動物園から搬出されたライオンは14頭いたが、そのうち11頭が無料で、もらわれていった。・・・東京都の資料では、ライオンの資産価値は10万円と見積もっている。一方、ペットショップで20万〜40万円で売られる猫もいる・・・。



ライオンは繁殖が容易で、一度に3頭前後を生む。成長すると近親交配や親との闘争のリスクが出てくる。群れで飼うには広いスペースが必要。エサはたくさん食べる等の背景があった。動物園で生まれ祝福されても、成長するにつれて飼えなくなり、受け入れ先を探さなければいけなくなる。このような「余剰動物」が多く存在することを今回の記事で知った。

弱肉強食である動物の世界に君臨し、鬣（たてがみ）を風になびかせる百獣の王。そんなイメージしかなかったライオンを含めて、現在の動物園には「余剰動物」「希少動物」「種の保存」「動物福祉」など、多くの問題を抱えていることが理解できた。

井上武士 再考

五代町生涯学習奨励員

吉田 久敏

井上武士は、明治二十七年、勢多郡芳賀村大字五代(現・五代町)に生まれ、今年で生誕一二六年を迎えます。音楽といえれば日本古来の謡曲や民謡ぐらいいしかなかった時代に、西洋音楽を目指し、東京音楽学校(現・東京藝術大学)に学び、童謡・唱歌・校歌の作曲を通して、児童教育の充実に多大な貢献をしています。

前橋市や群馬県には、既存の市立・県立の記念館に先駆けてでも、作曲家・音楽教育者としての井上武士顕彰館の一つでもあるべきではと思っています。児童教育や地域振興の観点からも、その業績を全国に発信できることは、大変意義のあることではないかと思えます。

「生誕一二〇周年」を記念した「井上武士音楽祭」が以降毎年開催されていることや、「群馬県童謡作曲コンテスト」も「井上武士記念童謡作曲コンテスト」と名称を変えて実施されていることは、大変喜ばしいことかと思えます。

晩年、前橋市市制八十周年記念の市民音楽祭に招かれた講演の中で、音楽に感動する心を持つことへの名言を残し、音楽を通して「人間の幸福」を願った生涯を窺うことができます。

そして、八十歳の生涯を閉じ、「大律院徳育亮武清居士」として天台宗 善勝寺にある井上家の墓地に眠っています。

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

著者名

口福のレシピ	原田 ひ香
心淋し川	西條 奈加
僕の神さま	芹沢 央
降るがいい	佐々木 譲
灯台からの響き	宮本 輝
雪月花	北村 薫
死神の棋譜	奥泉 光
ハリネズミは月を見上げる	あさの あつこ

児童書・絵本

いきものやばいすみか図鑑
再生可能エネルギー図鑑
イズナくんは今日も、
こども禅の言葉
カプトムシのガブリエル、もりのヒーロー
おぼけになりたいなす
いらいらばいばい
ことばたんてい テンテン・マールをおえ
おつきみパーティーまんまるまんまる

☆木曜休館(土日祝日は10時〜17時開館)
※ご来館の際はマスク着用をお願いします。